

見る聞く 考える これからのメディア ～ジェンダーの視点でメディアを読み解く～

TV、ラジオ、新聞、雑誌、広告、そしてインターネット。

もしその情報が偏った視点で作られたものだとしたら、あるいは私たちの人権をおびやかすものだとしたら、どうすればいいのでしょうか？

メディアから与えられる情報をそのまま受け入れるのではなく、自分でしっかりと判断する力「メディア・リテラシー」を持つことの必要性が叫ばれています。

メディア・リテラシーを身につけ、情報化社会を真の男女共同参画社会づくりに生かすための方法を探ります。

*1 ジェンダー 文化的・社会的に作られた性差

いまとなぜ

*2 メディア・リテラシー（情報を読み解く力）

メディアからの情報を主体的に選択し、内容を分析・読解し活用できる能力や、メディアを適切に選択し発信する能力を身につけること。

「メディア・リテラシー」が必要か

テレビCMウォッチング

身近なメディアのひとつであるテレビCMに描かれている女性像と男性像を比べてみました。

チェック1 洗剤CMチェック

対象CM 洗剤CM 12本

主役 女性5本 男性5本
家族1本 子どものみ1本

主役の女性はすべてエプロン姿で「主婦」を連想させる設定であったのに比べ、男性は5本中3本まで職業が設定されていたのが対照的。男性自身が洗濯や掃除をしているCMもありました。



同じトイレ用洗剤でも、こんなに視点の違いがある。



▲トイレ掃除する母親



鈴木みどりさん

立命館大学産業社会学部教授。
NPO法人「FCT市民のメディア・フォーラム」代表理事。
専門はメディア論、メディア・リテラシー研究、ジェンダーとメディア研究。編著書『メディア・リテラシーの現在と未来』『Study Guide メディア・リテラシー [ジェンダー編]』他多数。

チェック2 栄養ドリンクCMチェック

対象CM 栄養ドリンクCM 6本

主役 男性5本 男性と女性1本

主役の男性は職業がわかる設定で、仕事で疲れていてもがんばる・上半身裸で走るなど、元気・力強さといったイメージを前面に出しています。女性は、男性の後ろで小さく描かれています。



平成15年12月8日～15日のCMをチェックしました



みんなでCMをチェック

テレビCMチェックシート見本例

商品名	商品種類	企業名	時間帯	秒数
○○○	菓子類	△口社	9:00pm	15秒
CMの内容				
登場人物とその特徴	全体構成	キャッチ・説明・画像・音楽 その他気がついた事	このCMを見てどう思ったか？	
主役：複数の女性	女性たちがくつつきあい、踊ったいしている。	商品名は言っているが、商品説明はほとんど無し。	子どもも好んで買おうとに、商品と一緒に女性の性的なイメージを前面に出しているのが不快。	

メディアを読み解き、積極的に関わろう

あふれる情報に流されないために「受け手」から「読み手」となって、ジェンダーの視点でメディアを見る力をつけてましょう。おかしいと思つたら、それを制作者に伝えていると思います。「おかしい」と感じたら視聴者が異議をとなえなければ、変化はありません。

などが挙げられます。「おかしい」と感じることがあるが、これまでの固定的な性別役割分担をそのまま使えば視聴者に受け入れられやすく、視聴率や商品宣伝につながるだろう、という企業や制作者の心理も働いていると思います。「おかしい」と感じたら視聴者が異議をとなえなければ、変化はありません。

現代社会では、ほとんどの情報がメディアを通して与えられています。社会の出来事を伝えるだけではなく、ドラマ・バラエティ・広告などによって女性・男性・若者・子ども・家族・流行のライフスタイルなどのイメージを提供し、語りかけてきます。毎日大量に送られてくるため、その存在はまるで空氣のように日常生活にとけこみ、私たちの社会観や価値観の形成に深く関わっていると言つてもいいでしょう。

気をつけなければいけないのは、私たちはメディアを通して知ったことを「現実」であると思いこみがちですが、それは「現実」の中から制作者がある視点によって選び、再構成して送り出されたものである、ということです。このことを知らないと、もし誤った情報や人権への配慮に欠けた情報が流されたとしても、気がつかずにそのまま受け入れてしまう危険性があるわけです。メディアは作られたものである、ということに気づくことが大切です。

メディアとジェンダー

メディアには、男女による固定的な性別役割分担が多く描かれています。登場する男女の偏った年齢分布、女性を性的対象として扱う番組、女性のプライバシーを興味本位に取り上げる記事などです。子どもたちの頃から無意識にそれらを見聞きし続けていたら、それが当たり前と思つてしまします。原因は、制作者が持つ「女だから、男だから」というジエンダー観や、制作の方針の立案や決定の場に女性が少ないと



鈴木さん著書

- ◆ テレビの場合
- ◆ 新聞や雑誌の場合
- ◆ 方法

左のようなワークシートを作り、二人以上で同じものをチェック。タイトルのつけかた、呼称、内容や写真の扱いなどで男女に違ひがないかなどをチェック、もし違ひがあれば、なぜそうなるのか考えてみましょう。

二人以上で同じものをチェックすることを抜き出します。タイトルのつけかた、呼称、内容や写真の扱いなどで男女に違ひがないかなどをチェック、もし違ひがあれば、なぜそうなるのか考えてみましょう。

◆ メディアをチェックしてみよう



メディア・リテラシーを身につけるには
ジェンダーの視点でメディアをチェックしてみましょう。今まで見過ごしてきたことで、何かおかしいと感じることがあれば、その原因を考えてみます。